

令和３年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

【食育の推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れていきます

番号	所属・団体	項目	令和３年度実施予定事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	食育の推進					
										健康づくり	食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつながる環境づくり	食からはじめる	
1	地域共生課	イベント		夏休み子ども教室	おやつやジュースに含まれる糖分や着色料について学ぶ。	—	—	小学３年生～６年生	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送った。	◎					
2	農水課	イベント		秋の収穫まつりの実施	鎌倉で収穫された農産物・海産物の紹介と販売をとおし、鎌倉の食を一緒に守り育てる心をはぐくむ。また鎌倉の産業の活性化をはかる。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	鎌倉市立大船中学校	市民					◎		JAさがみ鎌倉地区運営委員会事務局
3	農水課	イベント		鎌倉の朝市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、９月までは中止。10月以降未定。	鎌倉パークホテル駐車場	市民					◎		鎌倉漁業協同組合
4	農水課	イベント		腰越漁協の朝市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、９月までは中止。10月以降未定。	腰越漁港入口	市民					◎		腰越漁業協同組合
5	農水課	イベント		腰越漁協みなとまつり		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	腰越漁港	市民					◎		腰越漁業協同組合
6	高齢者いきいき課	その他		配食サービスの委託	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）のうち希望する曜日の夕食を、ご本人に手渡しで提供 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/h aishoku.html	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）	各世帯	次のいずれかに当てはまる方 1.介護保険の要介護4または5の介護認定を受けている65歳以上の方 2.次の2つの条件を両方満たす方 ①世帯の全員が65歳以上で、かつ調理が困難で支援が必要である ②利用対象者が低所得（合計所得金額160万円未満）である。	配食配達員のマスク着用、申請の郵送受付により、感染拡大を防ぐことに努めた。	◎					高齢者いきいき課、配食サービス事業者
7	市民健康課	情報提供・普及啓発		未病センターかまくら	市民が手軽に健康状態をセルフチェックし、自分の健康状態を「見える化」することで、その結果に基づき「未病改善」に取り組むためのアドバイスや情報提供を行う。	平日10時～15時（予約制）	鎌倉市福祉センター１階	市民及び県民	令和２年７月から予約制とし再開をしている。利用者への事前の検温と体調チェックの協力依頼と、測定機器や高度接触面の消毒を行っている。	◎					神奈川県
8	市民健康課	その他		乳幼児健康相談（抱っこｄｅシャベル）	身長・体重の計測、個別相談、育児のワークショップを行う。 保護者との個別相談の時間を設け、育児、口腔ケア・栄養などについての支援を行う。特別な支援の必要な児の口腔ケア相談。 健診・教室の事後フォローの場ともしている。	年数回程度	市内	乳幼児とその保護者	密を避けるため、予約制にて実施。 保健師、助産師、栄養士、心理士、理学療法士がそれぞれ専門相談として、面接や電話、オンライン、訪問にて個別対応している。	◎					
9	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域食育事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、食と健康づくりの関係について講話等をおとして伝える。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	依頼があれば、感染症対策をしながら対応予定。	◎					
10	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域健康づくり事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、骨密度等の測定や体力測定、健康づくりに関する講話、健康づくり計画の啓発等を行う。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	【成人】依頼があれば、感染症対策をしながら対応予定。中学校祭等は外部の参加は中止となつて、地域からの依頼なし。 【高齢者】集まる際に必要な感染予防対策を伝えながら、実施。	◎					

令和３年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

【食育の推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています

番号	所属・団体	項目	令和３年度実施予定事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	食育の推進					
										健康づくり	食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつながる環境づくり	食からはじめる	
11	市民健康課	その他		乳児健康診査	【４か月児健康診査】 【お誕生前健康診査】 疾患や発育・発達などの総合的な健康診査。問題等発見時には適切に医療、療育、相談につなげる。	通年	医療機関	乳児	期間を延長して臨機応変に対応した。	◎					市民健康課、乳児健診委託機関（鎌倉市医師会、湘南鎌倉総合病院、湘南かまくらクリニック、西鎌倉こどもクリニック）
12	市民健康課	その他		幼児健康診査	【１歳6か月児健康診査】 【2歳児歯科健康診査】 【3歳児健康診査】 疾病、発育、発達の総合的な健診。問題等発見時には適切に医療、療育、相談につなげる。 生活習慣の自立、う歯の予防、幼児の栄養、その他育児等に関する指導・相談	通年	鎌倉市福祉センター他	幼児	密を避けるため、完全予約制（インターネット予約）。人数を把握し、10分間隔で来所人数を限定。常時換気、毎回消毒にて実施。集団講話なくし、歯科医師も２診として時間短縮している。	◎					市民健康課、鎌倉市医師会、鎌倉市歯科医師会
13	市民健康課	その他		ママとパパのための健康チェック	乳幼児健康相談を利用の保護者の骨密度測定等の健康チェックを行い、自己管理意識の向上を支援する。	年に数回	市内学習センター等	乳幼児健康相談を利用の保護者	乳幼児健康相談（抱っこｄｅシャベル）の密を避けるため、中止しているため実施せず。LINEを用い、子育て中の保護者を含む世代に、未病センターかまぐらの利用を勧奨している。	◎					
14	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【離乳食教室】 離乳食初期についての知識習得と実習。 育児に限らず、防災対策の一環としてのおんぶの効果・必要性について講義と体験をとおして、理解をすすめる。お子さんや保護者が初めて接する「食」体験の大切さを伝える。	通年(月1回)	深沢行政センター	4～5か月児及び9～11か月児と保護者	保護者の試食を中止し、人数を限定して短時間で実施。電話や訪問等個別対応も実施。	◎					
15	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【６か月児育児教室（まんま♡る～ぶ）】 保護者との個別相談の時間を設け、発育・発達の確認、生活リズムや栄養等の育児相談。	通年	市内支所等	乳児	集団講話やグループワークを中止し、最大７組入室、それぞれ保健師が一人ずつ対応し個別重視へ。	◎					
16	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまぐらシニア健康大学	介護予防・健康づくりに関する知識の普及啓発をはかることを目的に、介護予防・健康づくりに関する様々なテーマで講座を実施する。	月１回程度	市内	65歳以上の方	定員を会場の定員の1/2以下、参加者同士の距離をあける、マスク着用、手洗い・手指消毒の励行等の感染予防対策をとり、実施。	◎					市民健康課、介護予防事業者
17	市民健康課	情報提供・普及啓発		母子食育事業	お子さんや保護者が、はじめて接する「食」体験の大切さ・幼児期に適したおやつを共食する楽しさを伝える	年間	市内各所	乳幼児及び保護者	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、９月まで休止。オンライン離乳食教室の実施及び、離乳食動画の配信を行う予定。	◎	○				
18	市民健康課	情報提供・普及啓発		高齢者保健事業における食育事業	個別栄養相談やランチセミナーを通して、望ましい食事とウエイトコントロールについて考える	随時	市内各所	市民	特になし。	◎					

令和3年度「第3期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

【食育の推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています

番号	所属・団体	項目	令和3年度実施予定事業						鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	食育の推進				
										食をとおした健康づくり	食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつながる環境づくり	
19	市民健康課	情報提供・普及啓発		幼児食育事業「やってみよう！わくわくクッキング」	「自分でやってみたい」という気持ちが芽生える時期の幼児を対象に調理を行い、一緒に食べることで「共食」の良さを味わう。図書館職員及びボランティアスタッフによるおにぎり等の絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びも合わせて実施し、調理への導入を行ったあと、日本の食文化に触れるきっかけになるよう「おにぎり作り」「かつおぶし削り」等の体験を行う。	年3回	たまなわ交流センター	2歳6カ月～3歳11か月までの幼児及び保護者	中止	○	◎	○		
20	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくら食育カレッジ	世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるように、「食」に関するさまざまな講座を実施する	随時	市内各所	市民	感染対策を講じた上で、少人数で対面式で実施予定。オンラインでも同時配信予定。	◎	○	○	○	
21	市民健康課	情報提供・普及啓発		健康・食育情報の発信	ホームページやツイッター等を用いて健康・食育に関する正しい情報発信の充実を目指す	随時	市内各所	市民	特になし。	○	○	○	◎	
22	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域食育活動団体加入者増加のための協力	食育に関連する団体等への支援や市民への周知を行う。	随時	市内各所	市民	特になし。				◎	
23	保育課	普及啓発		給食だより・保健だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、保育園の献立で使用する食材、作り方等を紹介する。	月1回 随時	公立保育園	園児の保護者(約650名)	新型コロナウイルス感染症拡大にかかる事業への影響は特になし。	◎				○
24	保育課	その他		個別面談	アレルギー児の保護者に対して、栄養相談を行う。	随時	公立保育園	園児の保護者(20名程度)	室内換気、パーテーション設置、着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	◎				
25	保育課	イベント		地域子育て支援事業	・エンジョイ子育て応援講座(BP・目からウロコ講座) ・保育コンシェルジュ訪問相談 ・給食体験 ・離乳食体験 ・わくわく広場 ・各園の広場 ・電話相談	随時	公立保育園	一般市民	相談については、電話等により随時対応している。支援センターでの対面相談は実施した。給食・離乳食等の食事体験、講座、各園の広場(園庭開放以外)については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度は実施していない。	◎				
26	保育課	その他		保健衛生嘱託員巡回訪問	身長体重の計測 健康調査	毎月	各保育園	園児	公立保育園5園 私立保育園16園 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年(2020年)3月から巡回訪問を中断していたが、公立保育園は令和2年(2020年)6月から、私立保育園は令和2年(2020年)7月から巡回を再開し、毎月巡回訪問を行っている。	◎				

令和３年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

【食育の推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています

番号	所属・団体	項目	令和３年度実施予定事業						鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	食育の推進				
										健康づくり 食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつなぐ食環境づくり	食からはじめる	
27	保育課	情報提供・普及啓発		日々の生活リズム	園での生活の中で、日々の生活リズム（遊びなどの運動・食事・睡眠）をつくり、朝ごはんの大切さを学ぶ。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、給食時の着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	◎				
28	保育課	情報提供・普及啓発		「バランスのとれた食事」の啓発と実践	年間調理保育計画年間調理保育計画において「バランスのとれた食事」など、食事の大切さを学ぶ機会をつくり、実践する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、食育時の座席配置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。	◎	○	○		
29	保育課	情報提供・普及啓発		給食をとおし、伝統的な食に親しむ	和食の献立を多く取りいれた給食を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、給食時の着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。		◎			
30	保育課	情報提供・普及啓発		スプーンや箸などの食具の上手な使いかたを身につける	日々の給食の中で、月齢、年齢に応じた食具の使い方（スプーンの持ち方や箸の使い方）の指導を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	室内換気、給食時の着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。		◎			
31	保育課	情報提供・普及啓発		食に関するマナーを知る	集団生活の中で、年齢に応じた会食のマナーを身につけることを支援する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、縦割り保育や会食は実施を見合わせているが、日々の給食では室内換気、着席位置の工夫等一般的な感染防止対策を講じて行う。		◎			
32	保育課	情報提供・普及啓発		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、家庭科、技術・家庭科等をとおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	「密」にならないように、少人数ずつ調理室を外から見学したり、日々の給食時間に食前後の挨拶の意味を伝えたりする。		◎			
33	保育課	情報提供・普及啓発		給食等の時間における、楽しい会話とおした会食	日々の給食、地域の方との会食会等をとおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域交流、会食や食事時の会話では新たな課題が生じた１年だったが、着席位置、パーテーション等を工夫により、可能な限り一緒に食べる意義を体験する。		◎			
34	保育課	情報提供・普及啓発		栽培をとおして食べる意欲を育てる	種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の方法と収穫の喜びを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	「密」にならないように、少人数ずつ実施する。			◎		
35	保育課	情報提供・普及啓発		味覚体験	自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	収穫野菜については、調理室での洗浄、消毒を行い提供する。			◎		
36	保育課	情報提供・普及啓発		調理体験	自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った調理を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（主に5歳児クラス・約135名）	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和２年度は園児の行う調理保育を行わず、デモンストレーション台で職員が調理する様子を見学するに留める。		○	◎		
37	保育課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）	新型コロナウイルス感染症拡大にかかる事業への影響は特になし。			◎		
38	保育課	情報提供・普及啓発		食に係る放射性物質濃度測定の実施	保育園給食食材等の放射性物質濃度測定を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児（約650名）					◎	

令和3年度「第3期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

【食育の推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れていきます

番号	所属・団体	項目	令和3年度実施予定事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	食育の推進					
										健康づくり 食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつながる環境づくり	食からはじめる		
39	青少年課	その他		各種料理教室	料理を通じ、食べる喜びや栄養に関する知識を得る。	原則、毎月 新型コロナウイルスにより実施未定	鎌倉青少年会館	2歳児の親子から中学生まで 各種 市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	○	◎				
40	環境政策課	情報提供・普及啓発		牛乳パックのリサイクル	給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくむ	随時	公立小・中学校	—	学校からの要請により、感染症対策として多くの小中学校で回収を中止している					◎	
41	環境政策課	情報提供・普及啓発		「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」及び「鎌倉市環境教育行動計画」の施策の推進	温室効果ガス削減や環境保全行動の推進、食の地産地消等について、環境教育アドバイザー派遣制度等の取り組みを通じて、普及啓発を図る	随時	—	—	環境教育アドバイザー派遣制度については派遣申請者の感染症対策について事前確認したうえでやっている					◎	山崎・谷戸の会等の協力を得て実施
42	ごみ減量対策課	情報提供・普及啓発		環境教育	保育園・幼稚園の園児及び小学校・中学校の生徒を対象とした、循環型社会の形成に向けた、「食」をとおしたごみ発生抑制・減量化及び資源化を推進する	新型コロナウイルスの状況を考慮し、実施可能な限り随時実施	各園・各小中学校	保育園・幼稚園の園児及び小学校・中学校の生徒	オンライン対応、収容人数の半分の人数のみ対面可能にした。					◎	
43	ごみ減量対策課	イベント		フードドライブ	「家庭における食品ロスの削減」のため、市民が家庭で余っている食材を持ち寄り、本市にてそれらをまとめて地域の福祉団体などに寄与する https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/29fooddrive2.html	新型コロナウイルスの状況を考慮し、実施可能な限り実施	受付場所：本庁、鎌倉リサイクル推進会議 (笹田リサイクルセンター内)	市民	すべての食品の外装を消毒。					◎	
44	生涯学習課	情報提供・普及啓発		食育カレッジ・パン作り教室	自宅で気軽に作れるパン作りを学ぶ	9月	腰越学習センター	一般市民	新型コロナ感染防止対策により中止		○	◎			
45	生涯学習課	情報提供・普及啓発		食育カレッジ・男の料理教室	料理苦手な男性のために料理を学ぶ	11月	腰越学習センター	一般市民	参加人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。		○	◎			
46	生涯学習課	情報提供・普及啓発		ワインの魅力：入門～中級コース	ワインの歴史から成分、健康効果まで学ぶ	2月	腰越学習センター	一般市民	参加人数を減らし、感染防止対策を徹底して行う。	○	○	◎			
47	学務課	情報提供・普及啓発		小学校給食についての広報	地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深める	通年		市民	特になし。				◎	○	
48	学務課	情報提供・普及啓発		給食だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、献立の作り方を紹介する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。	◎				○	
49	学務課	情報提供・普及啓発		鎌倉伝統の食による献立の作成	鎌倉の伝統の食であるけんちん汁の献立を作成し、次世代に伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。		◎				
50	学務課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。				◎		
51	学務課	情報提供・普及啓発		季節の食材の紹介	給食室や栄養士から、季節の食材情報を発信する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	特になし。				◎	○	
52	教育指導課	その他		保健だより、健康だより等の発行	望ましい生活リズム等を児童生徒・家庭へ伝える。	随時	市立小・中学校	児童生徒・保護者		◎				○	市立小・中学校
53	教育指導課	その他		食育の推進	栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性、また自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化などについて、教科等の内容と関連させた指導を行う。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	○	◎	○	○		市立小・中学校

令和３年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組予定

資料2(R3)

【食育の推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの１つに◎を入れていきます

番号	所属・団体	項目	令和３年度実施予定事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、事業を実施するために行う工夫 (例：実施回数を増やし、一度に参加する人数を減らした、等)	食育の推進					
										健康づくり 食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつながる環境づくり	食からはじめる環境づくり		
54	教育指導課	情報提供・普及啓発		食育だよりの発行	中学生へ、食や健康に関する情報を提供したり、朝食のレシピを紹介する	6月1月 10月	市立小・中学校	生徒、保護者、教師	紙面作成の上配布なので、問題なく実施	◎				○	市立小・中学校
55	教育指導課	その他		給食をとおしてバランスのとれた食を学ぶ	バランスのよい日本型食生活を取り入れた献立の給食を提供することで、食べる体験からバランスのよい食事の大切さを学ぶ。	通年	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、食事中の会話はしないなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	◎					市立小・中学校
56	教育指導課	その他		生活リズム強調期間の設定	長期休業中の生活指導等、年間指導計画に基づき実施した。	随時	市立小・中学校	児童生徒		◎				○	市立小・中学校
57	教育指導課	その他		家庭科等の教科における食育		随時	市立小・中学校	児童生徒	調理実習については、手洗い消毒等感染症予防対策を徹底しての実施	◎	○				市内国公立小学校
58	教育指導課	その他		食に関する年間指導計画を策定	全校で策定する。	2月	市立小・中学校	児童生徒	教員作成文書のため、コロナ感染防止対策を踏まえて策定	◎	○	○		○	市立小・中学校
59	教育指導課	その他		家庭科、特活等における学習	食と安全、食品の選び方・買い方、バランスのよい食事、健康と食べものなどについて学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施	◎	○	○		○	市立小・中学校
60	教育指導課	その他		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、道徳科、家庭科、技術・家庭科等をとおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施		◎	○			市立小・中学校
61	教育指導課	その他		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食やランチルーム会食会、地域の方との会食会等をとおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	随時	市立小・中学校	児童	児童・生徒間の距離を取る、食事中の会話はしないなど、感性予防対策をとりながら給食は実施 会食に関しては中止		◎				市立小・中学校
62	教育指導課	その他		生産体験学習	栽培活動をとおして、食生活が多くの人に支えられていることを学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小中学校で実施				◎		市立小・中学校
63	教育指導課	その他		食料生産に関する学習	社会科等の教科の中で、食料生産を支える人々について学ぶ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	児童・生徒間の距離を取る、マスクを常時着用するなど、感性予防対策をとりながら小・中学校の栽培環境のある学校で実施				◎		市立小・中学校
64	教育指導課	その他		職場体験（キャリア教育）の実施	総合的な学習の時間をとおした、職場体験を実施する。	随時	市立小・中学校	生徒	中止				◎		市立小・中学校
65	教育指導課	その他		社会科等の教科における学習の実施	市教委作成「かまくら」「わたしたちの鎌倉」を用いて、「食」ともつながる身の回りの環境を学習し、環境保全の意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒						◎	市立小・中学校
66	教育指導課	その他		環境教育の実施	教科、総合的な学習の時間等をとおし、身近な環境からグローバルな環境まで考える力をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	iPad等を活用するなど、感性予防対策をとりながら、小中学校で実施					◎	市立小・中学校
67	教育指導課	イベント		鎌倉の地域に関する学習	社会科、総合的な学習の時間等の時間をとおし、鎌倉の地に興味を持つことで地域づくりへの意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	iPad等を活用するなど、感性予防対策をとりながら、小中学校で実施		○			◎	市立小・中学校
68	教育指導課	その他		牛乳パックのリサイクル	給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくむ。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小学校3校実施 その他小学校13校、中学校9校は感染症予防対策の観点から実施せず。					◎	市立小・中学校